

# 新しい太平洋時代と日本

## 論文を審査して

東大教授 中嶋 嶺雄

わが国の将来の生存の戦略がアジア・太平洋地域の発展に大きくかわっており、近年、この地域が地球上もともとも活力に富んでいるとの認識は、一般にもかなり広がってきた。

それだけに今回は、そのような「新しい太平洋時代」に日本はどう対処すべきかという政策論が圧倒的に多かった。半面、これら地域の人びととの交流や文化接触などに焦点を当てた体験論はほとんどなく、また、女性の応募がごく少なく、若い世代の

男性の文章も少なかった。アジア・太平洋地域が日本の若者や女性にとって、レジャー旅行や新婚旅行のフィールドでしかないとしたら、それこそ問題であらう。

入選第一席の大野兼三氏の作品は、このテーマにかなする専門論文としても満点に近い秀作であり、審査員一同からも断然高い点数を得た。過去にも入選および佳作入選の経験を有するベテランだというのが、八十三歳の高齢にして文章が若々しく、視野も広い。入選第二席の松本治朗氏「シンガポールで教えられたこと」は、数少ない体験論であり、平明な文章によって留学生交流のうえで考えねばならない問題を衝いている。読んでほのぼのとする作品だが、やや一般論に過ぎるといふ気もする。

入選

大野 兼三  
松本 治朗

佳作

今田 敏之  
朴 京男  
西原 金次郎

佳作第一席の今田敏之氏の文章は、「三つの摩擦」に焦点を絞っており、バナナの話のように具体的な問題点を指摘していて、論旨も明確である。佳作第二席の朴京男氏「日本を見つめるアジア」は、在日韓国人の作品かと思われるが、それだけにアジアの「内側」からの鋭い眼が感じられた。佳作第三席、西原金次郎氏の文章は、在外邦人のデータが興味深く、よくバランスのとれた議論を展開している。一つの見識であらう。

アジア・太平洋地域は、二十一世紀に向けて、これから本格的に交流し、相互依存関係を強めてゆく対象であるが、その多様性と複雑さについての認識は、まだ十分に深まっていないように思われた。

# 「今日の世界」としての太平洋

仙台市 学習塾経営 83歳 大野 兼三

地中海は昨日の海、大西洋は今日の海、太平洋は明日の海と言われた時代は終わった。いま太平洋は今日の世界になりつつある。その背景として次の六つがあげられよう。

一、この地域の経済成長率の高さ。たとえば、過去十年間、ASEAN（東南アジア諸国連合）、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ）の年平均実質成長率は八%台、アジア、NICs（新興工業国、韓国、台湾、香港、シンガポール）のそれは七%台に達した。その間欧州のそれは二%に過ぎなかった。何より技術革新のうねりが、この地域の経済に活気を与えている。

二、米国が国内経済の重心を大西洋から太平洋に移しつつある。これまではピッツバーグ、デトロイトを代表とするフロストベルト（霜の降る地域）が鉄鋼、自動車などの基

幹産業を抱え米経済の中心だったが、近年は航空、エレクトロニクス、レジャーなどの先端産業、成長産業を擁したサンベルト（陽光の降りそぐ地域）が伸びてきているにつれて、世界経済の重心も、大西洋をはさんだ「米国—西欧」から太平洋を囲んだ「米国—アジア、オセアニア」へと移りつつある。

三、ソ連も最近では自らを「太平洋国家」と称しつつあり、太平洋艦隊は黒海、北洋、バルチックをしのぐ最大の勢力となっている。中距離ミサイルSS-20の極東配備数も急速にふえ、これらの軍事力を組織的に動かすための極東統括本部も最近設置された。

四、中国は近代化の実績をあげるため、日米と太平洋地域諸国との連繫を強化しつつあり、一九九七年の香港返還もはつきりしてきた。またこれまでこの地域の政治的不安定の要因であった朝鮮半島の緊張も、緩和の兆し

をみせ始めている。さらに英国のEC（欧州共同体）加盟に伴い、漳州、ニュージランドは太平洋国家として生きる覚悟を固め、経済、軍事両面で太平洋地域とのきずなを太くしてきている。

五、資源の豊かなこと。西欧は植民地主義によって資源を外に求めたが、太平洋地域には米国、カナダ、中国、インドネシア、漳州などの資源国がひしめいている。広大な海面もかつては国と国を隔てる障害物だったが、今は人と物とカネをつなぐ回廊である。

六、この地域ではさまざまな実験が始まっている。相互扶助の伝統を生かした韓国の農村運動「セマウル」、マレーシア、インドネシアにおけるイスラム教と経営を結びつけようという試み、こまやかな感性と一種の完全主義を持つ日本の経営などである。政治構造も議会制民主主義から強権主義、イスラム教のサルタン制、ミクロネシアの立憲君主制、中国を含めれば共産主義制まで多岐である。それでは、日本はこの「新しい太平洋時代」にどう対応すべきだろうか。

前述の通り、太平洋地域は世界の他の地域に比べ経済成長力に富み、活力を持つ諸国の